

港の風

vol. 49
2022.7.22

神戸港からのたより

PORT OF KOBE



神戸港からのたより

CONTENTS

船インフォメーション	01
港まちにある風景 02	04
知れば、なるほど船の旗	
特集	06
神戸大学の多機能練習船「海神丸」デビュー	
人みなと	10
神戸運輸監理部長 田淵 一浩 氏	
一般財団法人神戸観光局 専務理事 中西 理香子 氏	
神戸海洋博物館・カワサキワールドだより	12
神戸港ピックアップ	14
神戸空港NEWS	16
神戸港トピックス／ 編集後記	17



神戸大学多機能練習船「海神丸」

「港の風～神戸港からのたより」

編集・発行 一般財団法人 神戸観光局 港湾振興部

〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号

電話 078 (327) 8981 FAX 078 (332) 4739

<http://kobe-meriken.or.jp>

発行日 令和4年7月22日

表紙：神戸大学多機能練習船「海神丸」



この春も、国内のクルーズ船が運行を再開し、初入港船の歓迎セレモニーも3年ぶりに実施。港の賑わいが戻ってきています。

SHIP INFORMATION AND SCHEDULE

神戸港の初入港船を歓迎するセレモニーを実施

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、令和2年度、3年度と実施できなかった神戸港に初めて入港した船を歓迎する「神戸港初入港セレモニー」を実施しました。

神戸大学海洋政策科学部 新練習船「海神丸」

4月19日(火) 神戸大学深江キャンパス内に停泊中の新練習船「海神丸」の船内で神戸港初入港セレモニーを実施しました。「海神丸」は1987年の竣工から長きにわたり海事・海洋に関する人材の育成に貢献した前練習船「深江丸」の代替船として、高度な人材育成・研究教育活動に

応できる練習船として建造されました。

セレモニーでは、神戸市港湾局 川中 副局長から藤本 昌志 船長に初入港記念盾が贈呈され、神戸海洋博物館アテンド 吉村さんから尾崎 高司 機関長に歓迎の花束が贈呈されました。



井本商運株式会社 内航コンテナ船「のがみ」

4月25日(月) ポートアイランド第2期にある神戸国際コンテナターミナル (PG-17 KICT) に停泊中の新造内航コンテナ船「のがみ」の船内で神戸港初入港セレモニーを実施しました。「のがみ」は神戸市に本社を置く内航コンテナフィーダー輸送大手 井本商運株式会社の省エネ設備を搭載したコンテナ船で、国内最大級の20フィートコンテナ670TEU(個)を

積載することができます。

セレモニーでは、神戸市港湾局 松木 副局長から清水 周吾 船長に初入港記念盾、同じく松木 副局長から高宮 孝雄 機関長に記念品の神戸ワインが贈呈されました。その後、阪神国際港湾株式会社 中村 常務執行役員から井本商運株式会社 井本 隆之 代表取締役社長に記念品の陶板絵が贈呈されました。



クルーズ船

「ぱしふいっく びいなす」が神戸港から運航再開しました！

日本船の運航は昨年秋に「飛鳥Ⅱ」と「にっぽん丸」が再開しましたが、「ぱしふいっく びいなす」も約半年ぶりに運航を再開いたしました。また、「飛鳥Ⅱ」も、神戸からの航海は約半年ぶりとなります。

「ぱしふいっく びいなす」

神戸港からの営業航海は1年以上ぶりとなります。出港時は、サプライズ花火の演出がありました。

3月19日(土)

びいなす瀬戸内八景クルーズ

新港第4突堤西側より「神戸アルディウインドアンサンブル」による軽快な演奏に見送られながら瀬戸内海周遊へ向け出港しました。

3月22日(火)

春うらら屋久島・佐世保と瀬戸内海クルーズ

「神戸市消防音楽隊」による演奏に見送られての出港でした。

4月13日(水)

亜熱帯の島 奄美大島と洋上のアルプス屋久島クルーズ

「神戸市消防音楽隊」の演奏に見送られての出港でした。クルーズ中はUCCさんとアシックスさんの船内イベントがありました。今回初となる新しいイベントでしたが、コーヒーとウォーキングの講演はご乗船のお客様には大好評とのことでした。

5月6日(金)

GW四国 足摺岬・四万十川遊覧と瀬戸内クルーズ

晴天に恵まれGW最後のクルーズの出港でした。



5月9日(月)

風薫る日本一周クルーズ

「神戸市消防音楽隊」による演奏に見送られ、10日間の日本一周クルーズに向け出港しました。

6月11日(土)

洋上の楽園JAZZクルーズ～びいなす瀬戸内八景～

吹奏楽団「湊(そう)」による「銀河鉄道999」「アンパンマンのマーチ」…などの演奏に見送られ、瀬戸内海を巡るクルーズへ出港しました。

6月26日(日)

南西諸島 島めぐりクルーズ～宮古島・沖縄・奄美・屋久島～

神戸から4つの島を巡る7泊8日のクルーズへ出港しました。



「ぱしふいっく びいなす」
公式ホームページ



「にっぽん丸」

3月20日(日)

JTBチャータークルーズ

神戸発着 風光る春の島めぐり 屋久島・周防大島クルーズ

「神戸学院大学吹奏楽部」の澁淵とした演奏に見送られながら出港しました。

4月8日(金)

にっぽん丸30周年記念クルーズ

「神戸市消防音楽隊」による演奏に見送られての出港でした。

4月10日(日)

日南・奄美・屋久島クルーズ

「神戸大学交響楽団プラスアンサンブル」のみなさんによる重厚な演奏に見送られての出港でした。



「にっぽん丸」
公式ホームページ



「飛鳥II」

6月16日(木)

土佐ウイークエンドクルーズ

約半年ぶりに神戸港に入港した「飛鳥II」が、「神戸市消防音楽隊」による演奏とシャボン玉の舞う中、高知へ向け出港しました。

6月19日(日)

神戸発 初夏の神戸・鹿児島クルーズ

多くの市民の方々に見送られての出港でした。



「飛鳥II」
公式ホームページ



神戸港へのクルーズ客船の入港予定は

「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。



知れば、なるほど船の旗

港に停泊中の船や入出港する船が掲げている旗からは、いろいろな船に関する情報を知ることができます。今回は港で見ることのできる旗とその旗が発している情報について、独立行政法人海技教育機構の練習船「銀河丸」が掲げている旗を例にご紹介します。

船の国籍がわかる旗

右の写真は「銀河丸」の最後尾(船尾)です。船尾の旗竿には国旗(日章旗:日の丸)が掲げられています。このように船尾の旗竿には、船の国籍を表す旗が掲げられています。

しかし、全ての船が国旗を掲げているとは限りません。例えば、イギリス国籍の船は商船旗や官船旗、軍艦旗が掲げられています。日本国籍の船でも海上自衛隊の艦艇には自衛艦旗が掲げられています。このように国旗以外の旗を掲げている船もありますが、概ね国旗が掲げられています。これから港で船をご覧になる際は、ちょっと確認してみてください。

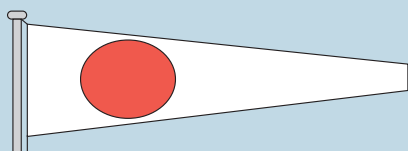
また、船尾の船名の下には船が籍を置いている港(船籍港)や国名が書かれています。因みに「銀河丸」は、船籍港の東京(TOKYO)と書かれています。



船の大きさを知らせる旗

右の写真でマスト(柱)の向かって左側に掲げられている旗は、「銀河丸」が総トン数500トンを超える船であることを周囲の船に知らせている旗です。

法律によって神戸港では総トン数500トンを超える航行中の船は、この旗(国際信号旗の数字旗1)を掲げることが決められています。(港則法第18条)



国際信号旗(数字旗 1)



船の進路(行先)を 知らせる旗

神戸港では、入港してくる船がどこに向かっていているのか周囲の船に知らせる進路信号を掲げています。この進路信号は、周囲の船から確認しやすい場所に船が通信で使用する国際信号旗を組み合わせて右図のように表示することで、その船が向かっている場所やエリアを知らせています。

中段の写真は、「銀河丸」が新港第4突堤東側に入港する様子です。右図⑨の進路信号を掲げています。

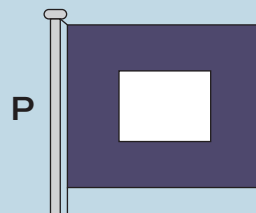
(図:入港マニュアル 神戸港港湾管理者より引用)

図番	国際信号旗	信文	図番	国際信号旗	信文	図番	国際信号旗	信文	図番	国際信号旗	信文
①	2代 K	第1区の三菱重工業神戸造船所から川崎造船に至る間の係留施設に向かって航行する。	⑦	2代 P E	第2区のポートアイランド東側の係留施設又はドルフィンパース9番に向かって航行する。	⑬	2代 E	第2区の東第1工区の係留施設に向かって航行する。	⑲	2代 R	第3区の六甲アイランド北側の係留施設に向かって航行する。
②	2代 T	第1区の高岸原側に向かって航行する。	⑧	2代 P N	第2区のポートアイランド北側の係留施設に向かって航行する。	⑭	2代 E 2	第2区及び第3区の東部第2工区の係留施設に向かって航行する。	⑳	2代 E 3	第3区の東部第3工区の係留施設に向かって航行する。
③	2代 N	第1区の中突堤に向かって航行する。	⑨	2代 S E	第2区の新港第4突堤東側から新港第4突堤西側に至る間の係留施設に向かって航行する。	⑮	2代 R N	第2区の六甲アイランド北側の係留施設に向かって航行する。	㉑	2代 F	第3区の東部第4工区の係留施設に向かって航行する。
④	2代 S W	第1区の新港第1突堤西側から新港第4突堤西側に至る間の係留施設に向かって航行する。	⑩	2代 M W	第2区の岸部ふ頭西側の係留施設又はドルフィンパース1番に向かって航行する。	⑯	2代 R W	第2区の六甲アイランド西側の係留施設に向かって航行する。	㉒	2代 E 4	第3区の東部第4工区の係留施設に向かって航行する。
⑤	2代 P W	第1区のポートアイランド西側の係留施設に向かって航行する。	⑪	2代 M	第2区の岸部ふ頭西側の係留施設又はドルフィンパース2番から8番に向かって航行する。	⑰	2代 R S	第3区の六甲アイランド南側の係留施設に向かって航行する。			
⑥	2代 P 2	第2区のポートアイランド第二期埋立地東側の係留施設に向かって航行する。	⑫	2代 A	第2区の本ふ頭に向かって航行する。	⑱	2代 R E	第3区の六甲アイランド東側の係留施設に向かって航行する。			

このほか、神戸港で停泊中や航行中の船が掲げている代表的な旗をご紹介します。

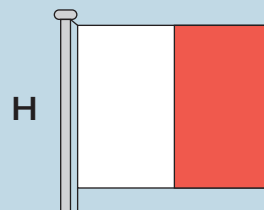
まもなく出港することを知らせる旗 (国際信号旗 P)

神戸港で停泊中の練習船やクルーズ客船等が、この旗を掲げている場合は間もなく出港することを周囲に知らせています。この旗は国際信号旗で「本船は出港しようとしているので全員帰船されたい」という意味を表しています。



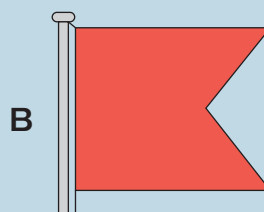
水先(案内)人が乗船していることを知らせる旗 (国際信号旗 H)

入出港時や航行中の船が、この旗を掲げている場合は水先人が乗船していることを知らせています。この旗は国際信号旗で「本船は水先人を乗せている」という意味を表しています。



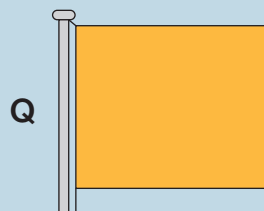
給油中や危険物の運搬中を知らせる旗 (国際信号旗 B)

神戸港で停泊中や航行中の船が、この旗を掲げている場合はタンカーから給油している船やタンカーなどの危険物運搬船が周囲に危険物を取扱っていることを知らせています。この旗は国際信号旗で「本船は危険物を荷役中または運搬中である」という意味を表しています。



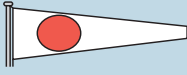
外国から入港する船が健康チェックを求める旗 (国際信号旗 Q)

神戸港で停泊中の船が、この旗を掲げている場合は外国から入港した船が、検疫を要請していることを知らせています。この旗は国際信号旗で「本船は健康である。検疫上の交通許可を求める」という意味を表しています。

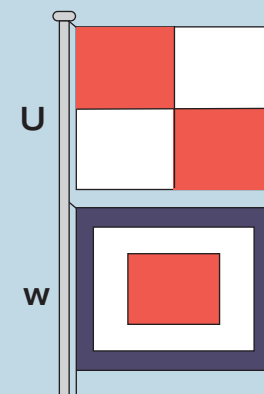


出港する船の航海の安全を祈る旗 (国際信号旗 U+W)

この旗は国際信号旗の2字信号で「ご安航を祈る」という意味を表しています。神戸港では練習船やクルーズ客船等の出港時に他の船がこの旗を掲げて見送っています。岸壁や客船ターミナルの送迎デッキでは、見送りに来た人たちがこの旗を振りながら見送る姿も見受けられます。

また、この旗で見送られる船は、UWの下に数字旗1  を連ねて掲げ「あなたの協力に感謝する。ご安航を祈る。」と答礼しています。

(右下写真 ○)





特集

神戸大学の多機能練習船 「海神丸」デビュー

～未来の「海」を担う人材育成、探査観測や災害支援にも活用～

神戸大学(神戸市灘区)の新しい練習船「海神丸」が誕生、深江キャンパス(東灘区)のポンドにその雄姿を見せています。同大学大学院海事科学研究科の所属で、今年4月、運用を開始しました。

34年間、活躍した練習船「深江丸」の代替船で、2020年に三井E&S造船に発注され、岡山県玉野市のドックで建造。同社から艦艇・官公庁船事業を譲り受けた三菱重工マリタイムシステムズで、2021年10月、命名・進水式を行い、内装工事などが進められていました。

「海神丸」は全長約59.60m、幅約11.00m、総トン数約892トンで、「深江丸」(同449トン)より大型化。運航管理を海事科学研究科が担い、海技者養成をはじめとする人材育成や、探査観測を活用した学内の研究活動、さらには産官学の連携研究、災害時の支援などに対応できる最新設備を備えた多機能練習船です。

世界の海事・海洋分野での幅広い活動が期待されています。

**起工式**

2021年2月19日、岡山県玉野市で起工式が行われ、建造がスタート。

**2022年4月より本格運行**

「海神丸」 誕生まで

命名・進水式

「海神丸」の命名・進水式は、2021年10月8日、快晴のもと、三菱重工マリタイムシステムズ玉野事業所(岡山県玉野市)で行われました。式には神戸大学や造船所の関係者約140名が参加。まず、神戸大学の藤澤正人学長が「本船を海神丸と命名する」と宣言。名称は「海の神戸大学」にちなんで名づけられました。

続いて、海事科学部の学生、遠藤奈央さんと安留未紗さんの手で支綱が切断され、汽笛とともにおごそかに進水、大きな拍手に包まれました。

**入魂式**

2022年3月18日、海神丸の神棚に航海の安全を祈願し、精魂がつぎこまれる入魂式が執り行われました。香川・金刀比羅宮のお札が祀られています。

**深江入港**

2022年3月22日、玉野を出港し、午後、ついに深江のポンドに入港。

**引渡式**

2022年03月23日、三菱重工マリタイムシステムズと神戸大学との間で、「海神丸」の竣工引渡式が、深江キャンパスで行われました。藤澤正人学長ら大学関係者、調枝和則社長ら三菱重工マリタイムシステムズ関係者が出席。海事科学研究科附属練習船として、4月から運用開始。

さよなら「深江丸」

前練習船「深江丸」は、1987年に誕生。神戸高等商船学校時代の1927(昭和2)年1月に進水した汽艇実習船「深江丸」から数えて4代目となります。以来、2020年末までで総航程(航走距離)は、39万5,135km(地球を南北に約9.9周する距離に相当)、乗船者数6万3,614人となり、多くの海技士の育成や海洋底探査などの調査研究を支えてきました。

2021年11月4日、惜しまれつつ最終運航を行い、2022年3月15日、深江のポンドから旅立っていきました。

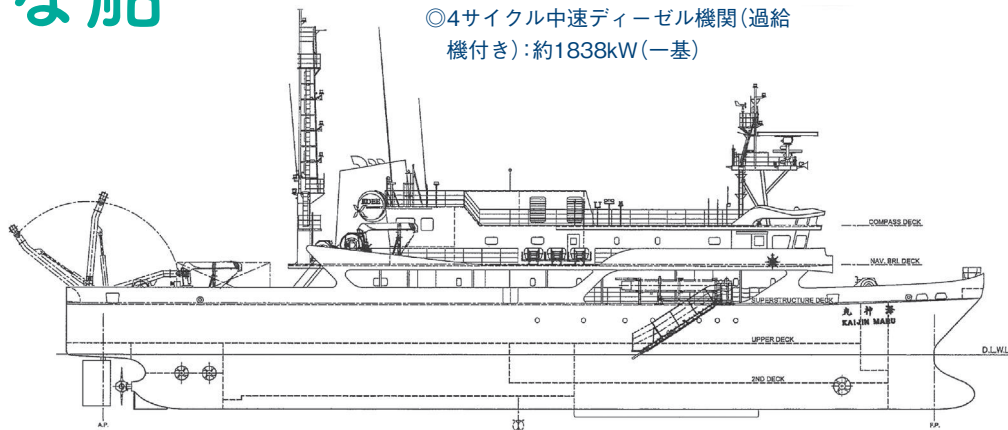


「海神丸」は こんな船

【主要目】

- ◎全長:約59.60m
- ◎幅:11.00m
- ◎深さ(船楼甲板):6.70m
- ◎総トン数:約892トン
- ◎4サイクル中速ディーゼル機関(過給機付き):約1838kW(一基)

- ◎航海速力(満載状態、主機関80%負荷、ノーシーマージン):約12.0ノット
- ◎航続距離(約10ノット):約5000海里
- ◎最大搭載人員:65名(士官8名、部員3名、教員6名、学生48名)



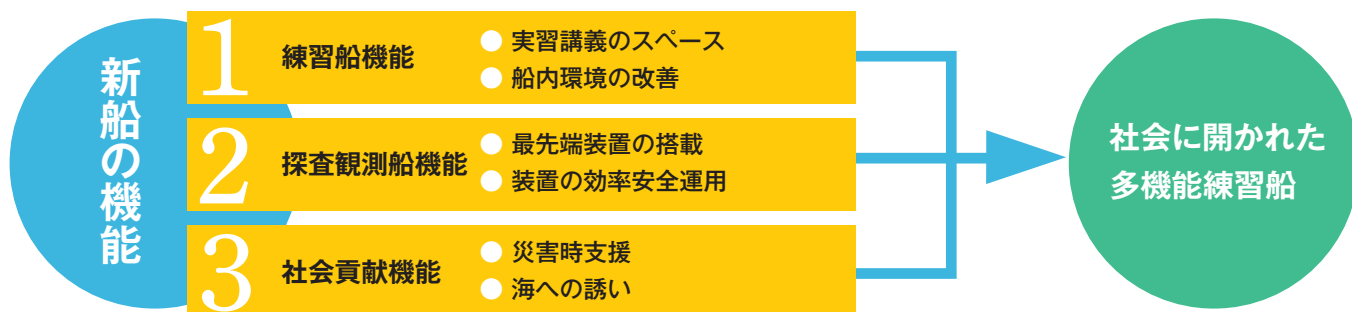
充実の機能

さまざまな機能が飛躍的にアップしています。高度機能集約型船橋システムで、機器などは大型外航商船で用いられているもの、エンジンも次世代型環境対応で音も静かです。情報通信システムは船内LANに加えて衛星通信の2系統を搭載し、大容量のデータ送受信に対応できます。船上データが一元化され、船内各所でリアルタイムにデータ共有ができるシステムです。また、調査、観測機器も高度化され、研究室が充実。新型コロナウイルスなど感染症対策のため、強制換気システムを備え、壁や什器類はすべて抗菌加工が施されています。

白いイルカを モチーフとした船体

船のコンセプトデザインは、世界的な工業デザイナー、奥山清行氏が率いるKEN OKUYAMA DESIGNが担当。船体デザインは白いイルカをモチーフに。ブリッジやデッキの濃紺が映えます。

全国でも珍しい3つの機能を持つ練習船



第1 練習船機能

長年培われてきた海技者養成をはじめ、学部、大学の枠を超えて、海事・海洋分野の発展、地球環境保全を牽引する役割を担える人材の育成を目指します。

多人数が使用可能な実習・演習用スペース、講義室などが備えられています。

文部科学省に認定された教育関係共同利用拠点として、全国の大学の学生を対象に、実習・演習・実験などの場としても提供。8月に帝塚山大学、甲南大学、中京大学及び大阪大学が利用予定です。

第2 探査観測船機能

多角的な海域探査や観測に必要な最先端装置を搭載しています。

鹿児島県・薩摩半島沖の海底火山「鬼界カルデラ」や、大阪湾の海底活断層の探査研究を行う予定です。

第3 社会貢献機能

巨大災害の発生時に、被災地への災害支援活動を行えるよう、1日10トンの造水機能、支援物資を輸送するコンテナを設置する場所、ヘリコプターでの物資輸送が可能な場所、上空から物資の積み下ろしができるドローン利用エリアも備えています。※神戸大学は神戸市との連携に関する協定書を結んでいます。

さらに、「海神丸」が海への関心を持つきっかけになればと、イベントや情報発信などを積極的に展開していきます。今夏には東灘区内の小学生、尼崎市の高校生らの見学などが予定されています。



海神丸での実習風景

動線に配慮、 居住区も快適な船内

船内は、各研究室が作業動線上に配置され、最適な研究、観測作業が行えるようになっています。講義室も多彩なレイアウトが可能です。

男女共同利用に配慮して、学生の居室は4人／8人部屋と少人数化、多室化に。女性用トイレやシャワーも拡充されています。居住区は暖色系の色合いで、LED照明を採用してより明るく。振動や騒音も抑えており、快適な住環境へと改善されています。



操舵室



ドライラボ



乗組員食堂



学生教室兼食堂



学生居室



デッキは、ヘリコプターでの物資輸送に対応しています



船の伝統文化「花毛布」が、居室を彩ります



厨房は元フレンチレストランのシェフが担当。機器も充実。「おいしい!」と大評判



藤本船長(写真左)と尾崎機関長

藤本昌志 船長

日本の社会生活を支えているのは、海運だと思っています。船の往來がストップしてしまったら、日本は立ち行かなくなります。そこを皆さんにもっとご理解いただけるよう、伝えていきたいですね。「海神丸」をきっかけに、船にも海運にも興味を持っていただけたら嬉しいです。

尾崎高司 機関長

船のエンジンは世界一大きなエンジンなんです。それを扱うマリンエンジニアは、縁の下の力持ち的存在で、船をしっかりと支えていく、やりがいのある仕事です。世界一でかいエンジンを扱う醍醐味を一人でも多くの若者に、ぜひ味わってほしいですね。



兵庫の観光振興に注目 期待のキーワードは ワーケーション

神戸運輸監理部長

田淵 一浩氏

PROFILE

岡山県玉野市生まれ、関東育ち。東京大学工学部産業機械工学科を卒業後、1985年4月運輸省(現・国土交通省)に入省。海事局総務課外国船舶監督業務調整室長、海事局安全政策課船舶安全基準室長、海事局海洋・環境政策課長、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所総務部長、理事を経て、2022年4月から現職。長年にわたり、海の安全や環境保全にまつわる仕事に従事してきた。趣味は読書。ノンフィクションでは歴史、フィクションではSFなど幅広く親しむ。

神戸はコンパクトで、人の流れがある街

私は岡山県玉野市生まれですが、3歳の頃に父の仕事の関係で引っ越して以来、大半を関東で過ごしてきました。今年から神戸で暮らしはじめ、関東との違いを感じたのは砂浜の明るさです。瀬戸内海全般にいえることですが、関東と比べて砂が白いのです。

神戸はコンパクトな街という印象を持っています。三宮エリアは、山側は北野町の異人館街で知られる観光スポットで、住宅街もある。駅周辺は生活必需品店から高級品店まで多彩な店があり、買い物客でにぎわっています。そして海側はウォーターフロント。山から海までが徒歩圏内にあり、次々と街の様相が変わるのは神戸の特徴でしょう。そして市街地では歩道が広いですし、ウォーターフロントは面的に整備されているので、歩くことを楽しめる街だと思えます。

世界の海の安全のために

船や海にまつわる国際的な仕事がしたいと思い、運輸省(現・国土交通省)に入省しました。様々な業務を担いましたが、中でも印象に残っているのはロンドンにある国際海事機関(IMO)にまつわる仕事です。

IMOは国際的な航海を行う船が安全性を保持するための統一ルールを作っている組織です。私どもでは、船の技術的な安全基準の条約改正を求める際にIMOに申し出ます。2009年に神戸港で、船の係留ロープが経年劣化で切れてしまい、大事故が起きました。この時は港で網取りをする業者に話を聞き、国際基準を厳しくするためIMOに条約改正を提案しました。私はその後異動になったので関わったのは

そこまでですが、条約改正が実現しています。

また、港に入ってくる様々な国の船が条約に合致しているかを確認するポर्टステートコントロールという検査を厳格化するには、他国との情報共有や協力体制が必要となります。そこで1993年にオーストラリアやカナダ、シンガポールなど、アジア太平洋地域の18の国で「東京MOU」という組織を作ったことが私にとって大きな仕事で、やりがいがありました。

兵庫県の魅力を発信

神戸運輸監理部は全国に10局ある地方運輸局の1つで、兵庫県の海事行政を中心に、自動車行政や観光行政などを含む、運輸行政全般を所管しています。

神戸運輸監理部の特徴的な仕事は2つあります。1つは、神戸港が日本の代表的な貿易港であるため県内には船のエンジンメーカーが多く、技術的な話を直接聞くことができることです。現場の声を、国土交通省に届ける役目を果たしています。もう1つは、観光による地域振興です。神戸や淡路などの魅力ある観光地があることから、地域に貢献するために、ホームページでの情報発信を充実させるほか、地元自治体との情報共有も積極的に行っています。

近年、コロナウイルス感染症対策でテレワークやワーケーションが定着したことが、兵庫のにぎわいにつながるだろうと考えています。神戸や淡路は海や山の自然に恵まれていますし、神戸空港や徳島空港を利用すると首都圏からも気軽に来ていただくことができますので、ワーケーションに適しています。ワーケーションで新たな人の流れができることで、観光地としての魅力が向上するでしょう。今後の活性化に期待しています。

生まれ育った神戸の街で 港の活性化に 貢献することが使命

一般財団法人神戸観光局 専務理事

中西 理香子氏

PROFILE

神戸市兵庫区生まれ。神戸大学法学部を卒業後、1987年4月神戸市に入庁。2009年に国際文化観光局文化観光部観光交流課長となって以降、市からの出向で阪神国際港湾株式会社の常務執行役員に就任するなど、主に観光やコンベンション、港湾にまつわる仕事に従事する。2022年4月から一般財団法人神戸観光局専務理事。趣味は観光と洋裁。休日は自分で作った服を身にまとい、ウォーターフロントや南京町など、神戸の街を散策するのが楽しみという神戸っ子。



生まれ育った神戸の役に立つために

私は神戸市兵庫区平野の生まれで、家のすぐ近くに里山があるという自然あふれる環境で育ちました。山が遊び場でしたし、祖父と父が港湾関係の仕事をしていたので海にもよく行きました。母の出身地が愛媛県松山市で、帰省する時にフェリーに乗って神戸と松山の間を往復したことも懐かしい思い出です。夜に松山を出発する便に乗ると早朝に神戸に到着するので、朝日に輝く神戸港や六甲の山並みを、海から眺めることができました。その光景は息をのむ美しさで、子どもながらに神戸って素敵な街だなと思ったものです。

就職先を考える時、実は神戸市が民間企業かで迷いました。当時は男女雇用機会均等法が成立してすぐの頃で、女性にも大手企業の総合職への門戸が開かれていたため、大阪の企業で働くことにあこがれがあったのです。けれども最終的に神戸市を選んだのは、神戸が好きという気持ちが強かったから。この街のために働くことに魅力とやりがいを感じましたし、その気持ちは今でも変わっていません。

観光にまつわる仕事に従事

役職に就いてからは、国際文化観光局文化観光部や産業振興局観光コンベンション推進室、神戸市からの出向で阪神国際港湾株式会社での業務に携わりました。神戸港開港150年記念事業に関連した大きな会議の運営事務局として、関係各所との調整役を担ったこともあります。

神戸市の職員で、観光やコンベンション、港湾の仕事に何度も関わるのは珍しいのですが、そのおかげで私は、現在所属している神戸観光局で役立つ知見を得ることができたと

思います。

阪神国際港湾株式会社で働いていた時には、神戸港で働く皆さんの国際港としてのプライドを強く感じました。これが神戸港の発展の原点だと思いますし、これからも神戸の玄関口として発展していくものと思います。

また観光の仕事では、観光客にとって魅力ある街は、地元の方々を中心に街自体が盛り上がっていることが大切だということを知りました。神戸という街は、神戸が好きな市民が多いため、観光で盛り上がる素地があります。もっと賑わう街にできるはずだと確信しています。

港の活性化に貢献する

神戸観光局の仕事は、観光とMICE(国際会議、インセンティブツアー、展示会、イベントなど)、港湾振興が事業の柱となっています。私たちは神戸の魅力を発掘し発信することで、神戸の活性化に貢献することが求められています。具体策としては、神戸はもともとリピーターが多い街ですので、まだ神戸に来たことがない方に対して、会議やイベントなどで訪れるきっかけを作ることが必要だと考えています。2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響で人の動きが制限されていましたが、今年度は回復の兆しがみられ、MICEやインバウンドの誘致活動、神戸港への外国客船の誘致など、積極的な取り組みを進めています。

観光の主役はあくまでも、宿泊施設や観光施設、飲食店、土産物店など、観光にまつわる民間企業のみなさんであり、神戸市観光局は縁の下の力持ち、旗振り役です。大好きな神戸の街の活性化に貢献したいと思っています。

神戸海洋博物館 & カワサキワールド だより

神戸海洋博物館

開館35周年記念特別展示、および Anniversaryイベントを開催いたしました

神戸海洋博物館は2022年4月30日(土)に開館35周年を迎えました。つきまして、1987年開館当時の模様を写真等でご紹介する特別展示『35年前の海から』を4月19日(火)～6月26日(日)の会期にて、神戸市中央区のマスコットキャラクター『かもめん』によるグリーティングや『海・船・港にまつわるワークショップ』などのAnniversaryイベントを4月29日(金)～5月5日(木)の期間中、日替わりにて開催いたしました。幅広い世代のご来館者とともに35周年を迎えることができ、また、当館や神戸港の歴史、海事知識に触れていただく機会ともなりました。



展示風景



マスコットキャラクター
『かもめん』



船の温度計

企画展『みなと神戸のハイカラさん』、 『ボトルシップ作品展』を開催いたしました

1868年の開港によりもたらされ、育まれてきた神戸の文化についてご紹介する企画展『みなと神戸のハイカラさん 産業編』を4月19日(火)～5月22日(日)に、神戸海洋博物館の開館と同時に発足し、ともに35周年を迎えた神戸海洋博物館ボトルシップ愛好会による作品展『ボトルシップ作品展 思い出の船』を5月31日(火)～6月26日(日)に開催いたしました。毎週末には愛好会メンバーによる作品解説や実演制作を行うとともに、小学生を対象とした『子どもボトルシップ教室』も併催。いずれも多くのご来館者にお楽しみいただいた企画・作品展となりました。



『みなと神戸のハイカラさん 産業編』展示風景



『ボトルシップ作品展 思い出の船』展示風景

子どもボトルシップ教室

夏休み期間中のイベントご案内

昨年好評をいただきましたナイトタイムエコノミー
『KOBE Summer Night Museum』を、
本年も開催いたします。
皆さまのご来館を心よりお待ちしております

概要

夏休み期間の毎週土曜日、
開館時間を通常18時から20時まで延長。
神戸海洋博物館ならではの
“夏の思い出”が楽しめるイベントを開催

開催日

7月23日・30日、
8月6日・13日・20日・27日の全6日程

「紙すき体験教室 のりものはがきをつくろう!」を開催

2022年5月1日(日)と2日(月)、神戸海洋博物館講堂にて「紙すき体験教室 のりものはがきをつくろう!」を開催しました。

本イベントは、障害者活躍企業に認定された川重ハートフルサービス(川崎重工グループ)で、再生紙製造を行う従業員が講師を務めています。小学生を対象に、牛乳パックから作った紙のタネで紙すきを行い、好きな乗り物のデザインを施し、色を塗って世界で1枚だけのオリジナルはがきを作ります。

今回は4月30日で開館35周年を迎えた神戸海洋博物館のAnniversaryイベントとしても実施され、川崎重工グループ製の乗り物に加えて、神戸海洋博物館オリジナルデザインも用意しました。

期間中は28人の小学生が参加し、紙のタネの感触を楽しんだり、好きな色を塗ってはがきづくりを楽しんだりと好評でした。



自由に色塗り!



紙のタネの感触も楽しんでもらいました



オリジナルデザイン(神戸海洋博物館の外観とロドニー号)

カワサキワールドでは、さまざまな夏休みイベントを計画しています。最新の情報はウェブサイトをご確認ください!

- **開館時間** 10:00~18:00 (最終入館17:30まで)
- **休館日** 月曜日(月曜日が祝日の場合翌平日)、年末・年始
- **交通** **【電車】**
 市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分/JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分/神戸高速(阪急・山陽)「花隈駅」から徒歩約15分
【車】
 山陽新幹線「新神戸駅」から約15分/阪神高速道路京橋ランプから約5分/ハーバーハイウェイ新港ランプから約5分(周辺に有料駐車場あり)

●入館料金

個人料金	一般団体		学校団体
	15名以上		
大人	900円	720円	高校生 300円
小人 (小・中・高)	400円	320円	小・中学生 150円

都心もウォーターフロントエリアも、楽々アクセスで楽しめる！

ぐるり旅 KOBЕ キ

神戸市内の観光施設を巡り放題できる「KOBЕ観光スマートパスポート」と、観光エリアを結ぶバス「シティーループ」・「ポートループ」が1日乗り放題のチケット「Kobe 1-day loop bus ticket」のどちらも半額で購入できるキャンペーンを実施中です。街から港までぐるっとまわって、今こそ神戸を遊びつくしてみませんか？

「KOBЕ 観光スマートパスポート」

対象の49施設で使える電子周遊バスポート。
1日間または2日間が選べます。

販売価格：プレミアム1day 1,800円（通常3,600円）
プレミアム2day 2,950円（通常5,900円）

対象施設：下記HPよりご覧ください

購入方法：オンラインまたは取扱施設にて

使用期限：令和5年5月31日まで

販売期間：令和4年10月31日まで

期間内でも予定販売枚数に達した時点で販売終了

詳しくは、HP：<https://feel-kobe.jp/smartpass/>

対象の施設はこちらをご確認ください▶

お問い合わせ 一般財団法人神戸観光局

TEL:078-230-1120



Kobe 1-day loop bus ticket 路線図



神戸布引ハーブ園/ロープウェイ

北野異人館

北野工房のまち(トアロード)

旧居留地・大

元町商店街(南京町筋)

みなと元町駅前

南京町(中華街)

かもめりあ

かもめりあ

ハーバーランド(モザイク前)

メリケ

メリケンパーク

ポートタワー前

ポートタワー前

ハーバーランド

「Kobe 1-day loop bus ticket」

シティーループ、ポートループ、神姫バスの路線バス（山手線・神戸空港線を含む神戸中心エリアを運行する路線バス）が1日乗り放題のチケットです。

販売価格：350円（通常700円）

購入方法：窓口またはアプリ（PassRu、RYDEPASS）

使用期限：令和4年12月31日まで

販売期間：令和4年10月31日まで

期間内でも予定販売枚数に達した時点で販売終了

詳しくは、HP：<https://www.shinkibus.co.jp/bus/cityloop/>

<https://www.shinkibus.co.jp/bus/portloop/>

お問い合わせ 神姫バスお客様センター

TEL：079-223-1254



CITY LOOP



Port Loop



Port Loop ポートループ

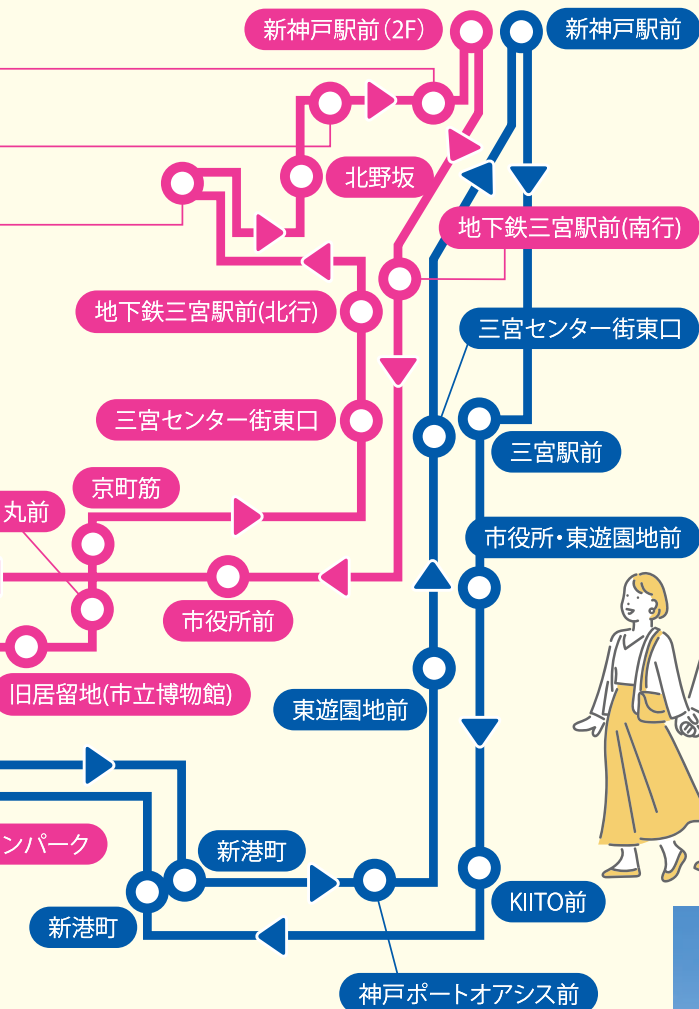


昨年4月に運行を開始した、連結バス「Port Loop」。連結された長い車体と、深い青色が特徴です。今年4月1日からは新神戸駅へも乗り入れ、バス停も6カ所新設されました。都心とウォーターフロント、どちらも巡って楽しむ神戸観光の新しい足として注目です。

キャンペーン

シティーループバス停・運行ルート

ポートループバス停・運行ルート



新スポット、サービスにも注目！
魅力いっぱいの神戸港エリア

観光船



boh boh KOBEO号



御座船 安宅丸(ござぶね あたけまる)。2021年10月運行開始



ロイヤルプリンセス

「KOBEO観光スマートパスポート」の対象施設



felissimo chocolate museum
2021年10月にオープンした、チョコレートのパッケージを収蔵・展示するミュージアム



神戸海洋博物館・カワサキワールド



モザイク大観覧車

神戸の街にマッチした人力車「リムジンリキシャ」も誕生！



ラグジュアリーな外装の車を、コンシェルジュのような出で立ちのトランスポーター（俵夫）がひく、その名も「リムジンリキシャ」が、今年4月からウォーターフロントエリアで運行しています。神戸開港の頃を思わせる人力車に乗り、トランスポーターの案内を聞きながら、海風をいっぱい感じるすることができます。

企画：K.D.P
運営：えびす屋神戸店
お問い合わせ kobe@ebisuya.com
公式 HP <https://www.ebisuyakobe.com/>

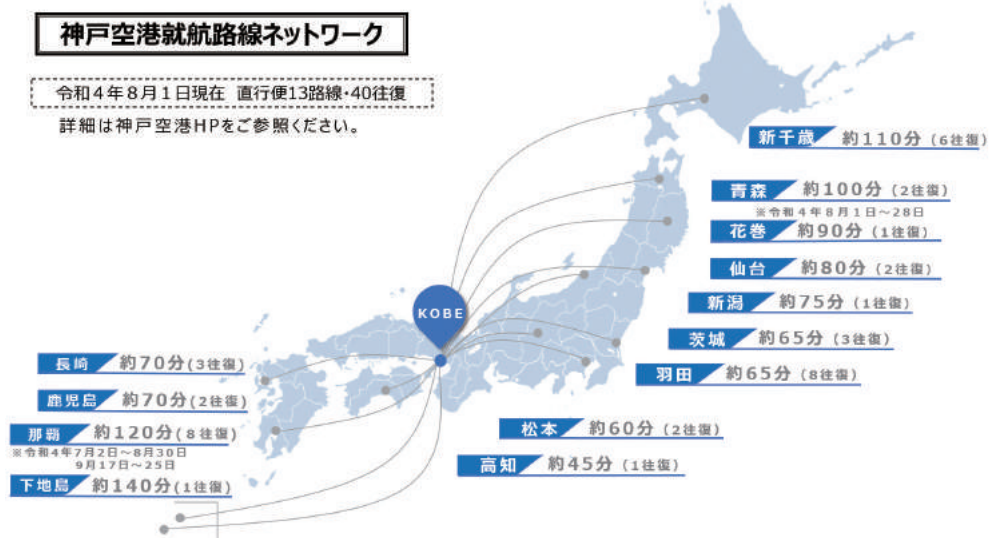
※「KOBEO観光スマートパスポート」の対象外です。





神戸空港から13都市に就航しています！

神戸空港は、全国13都市（札幌・青森・花巻・仙台・新潟・茨城・松本・東京・高知・長崎・鹿児島・沖縄・宮古（下地島））に就航しており、5社の航空会社（スカイマーク・全日本空輸・ソラシドエア・AIRDO・フジドリームエアラインズ）により運航しております。



夏休みシーズンは、路線がより充実しています！

2022年8月1日（月）～28日（日）の間、フジドリームエアラインズによる神戸-青森線が1日1往復から2往復へ増便します。

8月の青森県は祭り一色！毎年8月2日～7日に開催される、「青森ねぶた祭り」、8月1日～7日の「弘前ねぶた祭り」、8月4日～8日の「五所川原立佞武多」は青森三大ねぶたと呼ばれ、地域ごとに掛け声などが異なります。

神戸空港からのフライト時間は、約100分。ますます便利になった青森へぜひ訪れてはいかがでしょうか。

また、神戸-那覇線は7月2日～8月30日、9月17日～25日の間、1日8往復に増便し、利用しやすくなっています。



青森ねぶた祭

【運航ダイヤ】 ●増便

便名	神戸 → 青森	便名	青森 → 神戸
FDA833/JAL2633	11:55 → 13:35	FDA4832/JAL2632 ●	10:50 → 12:35
FDA4835/JAL2635 ●	13:45 → 15:25	FDA834/JAL2634	13:15 → 15:00

神戸港 TOPICS

令和4年度神戸港オリエンテーション

withコロナで講演会をライブ配信
神戸港見学はコロナ対策を講じて実施

港湾振興部の会員組織「神戸港振興倶楽部」会員企業・団体の新入社員などを対象に、神戸港の概要説明（講演会）や神戸港内を周遊する観光船をチャーターして海上から神戸港の施設を見学する「神戸港オリエンテーション」を開催しました。

神戸市港湾局の職員を講師に招いての神戸港の概要説明は、新型コロナウイルス感染状況を鑑みYouTube

Channelにおいて4月6日（水）会員限定でライブ配信によって実施しました。一方で観光船による海上からの神戸港施設見学については、4月7日（木）・8日（金）に乗船可能人数を定員の2分の1以下に制限するとともに2日間4便に分けて実施するなどのコロナ対策を講じて実施しました。



編集後記

「神戸港からのたより」第49号をご覧いただき、ありがとうございます。

今回は、「海の神戸大学」を象徴する多機能練習船「海神丸」を特集いたしました。白いイルカがモチーフの海神丸を深江のポンドで初めて目にした時から期待が高まりました。30～40年に一度しか建造しない練習船の一大プロジェクトに設計から携わった藤本船長と尾崎機関長。初めて乗った船が前身の練習船「深江丸」で、自身を育ててくれた深江丸への感謝や様々な経験も海神丸に継承されています。建造中に新型コロナウイルス感染症の拡大があったことから、強制換気システムや抗菌加工なども追加されました。語りつくせないほどの高機能と誕生秘話があり、詳しくは神戸大学海洋政策科学部の「玉野だより」もご覧いただきたい次第です。

海神丸で学んだ多くの海事人材が神戸から育っていくことや海洋教育・研究活動、災害時の支援など今後の活躍を期待しています。多忙な海神丸ですが、神戸港で開催されるイベントなどで、ぜひお会いできる機会を楽しみにしています。

「神戸港からのたより」も次号で第50号を迎えます。そこで、神戸港振興倶楽部の会員企業・団体で働く中堅・若手社員の皆様を紹介する新企画を検討しています。所属する企業団体と業務内容、おすすめ神戸グルメなど、神戸港で働いているみなさまのご紹介が出来ればと考えております。今後とも引き続きよろしく願いいたします。（石）

